

平成 24 年度
公益文化事業 学校巡回公演

津軽三味線

スクールコンサート



主催 財団法人静岡県教職員互助組合

<http://www.gojomaru.com>

津軽の響き

1. 津軽三味線合奏曲「じょんがら」
2. 天地創造

風が運んだ日本のメロディ

3. アリラン (韓国)
4. 谷茶前節 (沖縄)
5. 牛深ハイヤ節 (熊本)
6. 阿波踊り「よしこの」(徳島)
7. 佐渡おけさ (新潟)
8. 津軽あいや節 (青森)

楽器紹介

ふるさと静岡の民謡

9. ちゃつきり節 (静岡)

※会場 (地域) によって曲目が変更になることがあります。

休憩

三味線と尺八の共演

10. 荷方節

チャレンジ・ザ・和楽器

11. ソーラン節
12. 太陽じょんがら

津軽三味線

13. 津軽じょんがら節曲弾き

～三味線の歴史～

三味線の源流は中国といわれています。中国福建地方を中心に用いられていた三絃(サンシェン)が14世紀末琉球に伝来し、ニシキ蛇を用いた三線(サンシン)に変化します。三線は16世紀末、琉球から堺商人により本土に伝来されました。本土では蛇皮の入手が困難なことから、各種動物の皮が代用品として使われ、一般に広まりました。その後、歌舞伎の音楽が生まれ、歌舞伎の演奏に用いられた長唄がもとになって、小唄や地歌が確立されました。江戸末期から明治になると、地方の民謡を三味線の伴奏で歌う俗歌、浪曲、女義太夫などが流行し、三味線音楽の全盛期を迎えました。浪曲は関西に栄え浪花節と呼ばれるようになりましたが、津軽三味線の源流はこのあたりからきていますといわれます。津軽三味線は、他の三味線と比べて、造りが大きく、迫力のある音の特徴です。

～村上三絃道メンバー紹介～

http://www.sangen.com



家元 二代目
むらかみ よしのり
村上由哲

むらかみ かえい
村上華映
(津軽三味線・唄・太鼓)

むらかみ ゆうづみ
村上由宇月
(津軽三味線・唄・太鼓)

こみなと ほうしょう
小湊法笙
(尺八・横笛)

きよくもくかいせつ 曲目解説

津軽じょんがら節 津軽三味線の代表曲です。太極の三味線の力強い撥さばきをご覧ください。

天地創 朝、生命の息吹、そよぐ風、清流の流れ、そして陽を浴びて華やかに咲き乱れる花々。津軽三味線と太鼓による軽快なリズムが人々の生命観を表現します。躍動的な調べは、昇りゆく太陽や季節の移り変わりもイメージさせます。

アリラン(韓国) 韓国では誰でも知っている民謡で、日本の民謡にもゆかり深い歌だと言われています。谷茶前は、沖縄本島の国頭群恩納村谷茶前という土地の名前、漁業の盛んな所です。旧4、5月頃には、雑魚が海面いっぱいになり、ざるでもすくえるほどです。若者達は漁に出かけ、娘たちは雑魚を売りに行くといった漁村での風景をうたっています。

牛深ハイヤ節(熊本) ハエは沖縄地方では南風のこと、南風が吹くと西回りの帆船が日本海に出ることが出来る時の喜びの歌として歌われました。一方、しげの折、漁師が天気回復(風)待ちの退屈しにぎに歌われました。「ハイヤ節」は、帆船の船乗り達によって北上し、各地の港に伝えられました。

阿波踊り「よしこの」(徳島) ハイヤ節が変化して歌われたものです。昭和始めに、お鯉さんがNHK大阪に招かれ、歌ったことから全国的に広まるようになりました。

佐渡おけさ(新潟) ハイヤ節が日本海を北上し越後に運ばれ、歌い出しの「ハイヤエー」が「オケサー」となり、いつの間にか「ハア」に変化したものです。おけさは、新潟、長岡、三条、出雲崎、寺泊、柏崎などのほか相川、小木などの土地によって節が異なります。代表的なものが佐渡おけさです。

津軽あいや節(青森) ハイヤ節が日本海を北上して、東北地方では「あいや節」になりました。津軽三味線の伴奏でうたわれます。北の地方では、細かい小節(こぶし)で歌われているのが特徴です。

ちゃっきり節(静岡) 昭和2年に北原白秋が作詞、翌年、町田嘉章が作曲で作られた新民謡です。第二次世界大戦後、市丸がレコード化してから一躍有名になり、静岡県下ばかりでなく全国的に歌われるようになりました。

荷方節 細かいパチさばきが特徴です。松坂という祝い唄が変化しながら秋田に伝わり、荷方節となりました。生徒の皆さんの健やかな成長を祈りながら奏でます。

ソーラン節 北海道の鯨漁で眠気や疲労を吹き飛ばすために「ソーラン、ソーラン」と掛け声をかけ、励まし合う作業唄。ドラマ「3年B組金八先生」で一躍有名となり、全国に広まりました。

太陽じょんがら ラテンのリズムに津軽三味線を合わせた軽快な曲で、新しい世界を醸し出します。情熱の太陽が厳しい風雪を溶かして「元気」を与えてくれます。



■ごあいさつ

このスクールコンサートをみなさんにお届けするのは、教職員互助組合
 として、小学校、中学校、高等学校の先生方が中心に組合員となって作っ
 ている組合です。

また、この組合は、先生たちが安心して生活し、みなさんと楽しく勉強
 できるように助け合うことを目的にしています。組合員ばかりでなく、みなさんや多くの人
 に役立つようなこともしています。このスクールコンサートをみなさんに楽しく聞いてもら
 うのもそのひとつです。みなさんのまわりにいらっしゃる先生方からのプレゼントです。

日ごろあまり聞くことのない三味線をはじめとする和楽器の演奏会です。和楽器の演奏や
 お話を聞いたり、触れたり、日本の伝統音楽を楽しんで下さい。

財団法人 静岡県教職員互助組合

理事長 太田 静夫

村上三絃道

1972年、厳しい風雪に練り上げられた津軽三味線の調べを西日本に根付かせるべく、津
 軽出身の初代家元村上由哲は宮崎市に「村上三絃道」を設立。演奏普及活動に邁進します。

1989年、その夢は二代目に引き継がれ、若き家元と社中の結束によって三絃の輪は大き
 く広がり、大地に次々と花を咲かせています。「村上三絃道」では、現在津軽三味線をはじ
 めとして太鼓、笛、鳴り物などの演奏と歌唱の指導にあたるかたわら、国内はもとよりアメ
 リカ、カナダ、スペイン、ブラジル、アルゼンチン、中国、シンガポールなどの海外公演も行い、
 反響と感動を呼んでいます。

また、時代に合った音楽をとということで、様々なジャンルとのジョイントコンサートの実
 施や小・中・高校生を対象にした鑑賞教室の開催など幅広い活動を展開しています。

伝統音楽を通じて、暮らしと人生に夢を、そして豊かな人づくりを、これが私たち「村上
 三絃道」の願いです。

公演日程

公演日	公演時間	会場	参加校
6月 4日(月)	午後	磐田市立豊岡中学校	豊岡中・豊岡北小
6月 5日(火)	午前	天竜壬生ホール	熊小・二俣小・下阿多古小・ 上阿多古小・清電中
6月 6日(水)	午前	浜松市立芳川小学校	芳川小
6月 7日(木)	午後	浜松市立丸塚中学校	丸塚中・蒲小・佐藤小
6月 8日(金)	午前	浜松学芸中学校・高等学校	浜松学芸中・高
	午後	静岡県立浜松大平台高等学校	浜松大平台高
6月11日(月)	午後	浜松市勤労会館Uホール	元城小・北小・中部中
6月12日(火)	午前	浜松市立追分小学校	追分小・城北小・附属浜松小
6月13日(水)	午前	湖西市立白須賀小学校	白須賀小・白須賀中